



特集 財政状況を公表します 問い合わせ：財政課 ☎ 23-3025

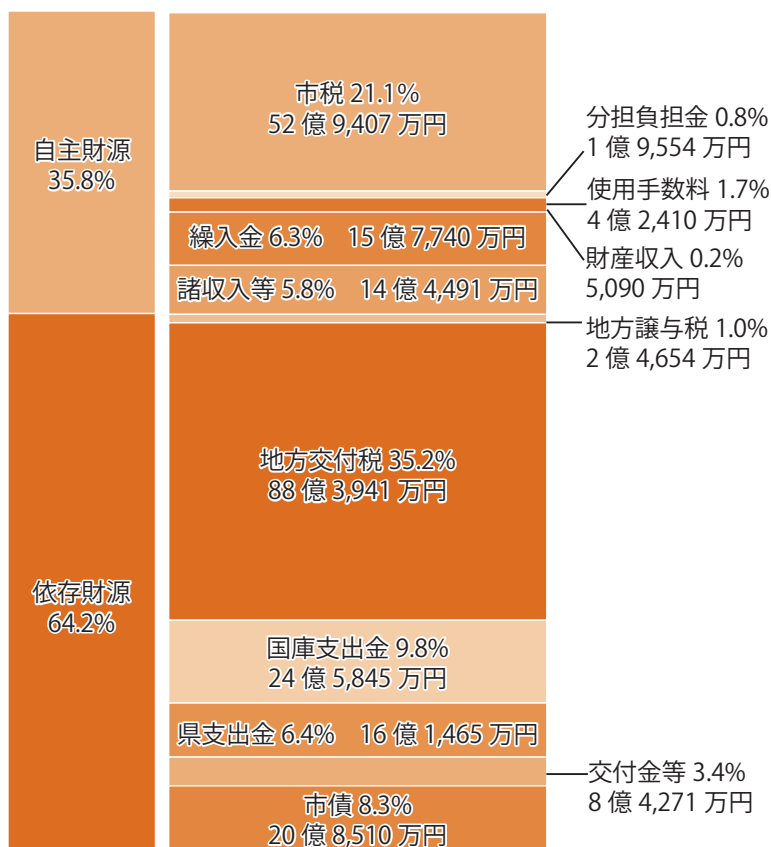
# 令和元年度 決算報告

令和元年度決算がまとまり、第98回安来市議会定例会9月定例会議に提出しました。  
令和元年度の決算を振り返り、市民の皆さんに納めていただいた税金や、国・県からの支出金などがどのように使われたかをお知らせします。

## 一般会計の決算状況 (単位：千円)

区分	平成30年度	令和元年度
歳入総額	25,794,522	25,073,781
歳出総額	25,460,729	24,647,366
差引	333,793	426,415
翌年度へ繰越	82,448	20,260
実質収支	251,345	406,155

一般会計の決算額は、歳入が歳出を上回る黒字決算となりました。今後も自主財源の確保に努め、限られた財源を有効に活用するなど、財政健全化を進めていきます。



## 一般会計 歳入

歳入総額 250 億 7,378 万円

■歳入総額は前年度比 2.8%の減となりました

主な増減 (前年度比)

- 繰入金 16.3%増 (220,571 千円)  
・・・財政調整基金、地域振興基金の取り崩しの増など
- 諸収入等 5.3%増 (73,119 千円)  
・・・ふるさと寄附金の増など
- 地方交付税 1.3%増 (115,067 千円)  
・・・公債費の伸びによる増など
- 国庫支出金 3.6%減 (△90,557 千円)  
・・・社会資本整備総合交付金の減など
- 県支出金 11.5%増 (166,223 千円)  
・・・農業振興事業の補助活用による増など
- 市債 36.7%減 (△1,207,300 千円)  
・・・大型建設事業の終了による発行額の減など



特別会計等の決算状況

安来市の会計には、一般会計のほか、国民健康保険事業や介護保険事業などの「特別会計」や水道事業や病院事業などの「公営企業会計」があります。  
 いずれも国民健康保険税や介護保険料、水道料金や医業収入など特定の収入を財源に事業を行っており、その収支状況を明確にするため一般会計とは分けています。

(単位：千円)

会計名	歳入（収入）		歳出（支出）		
	令和元年度	対前年度増減	令和元年度	対前年度増減	
特別会計	国民健康保険	4,462,068	△ 168,957	4,433,283	△ 140,635
	後期高齢者医療	1,091,793	2,602	1,082,317	3,867
	介護保険	5,273,545	184,669	4,934,708	93,901
	電気	51,966	2,972	45,598	402
	工業団地	13,880	-	13,880	-
	下水道	2,910,678	△ 76,663	2,870,749	△ 114,493
	母里財産区	1,109	△ 15	19	△ 4
	井尻財産区	216	10	31	10
公営企業会計	赤屋財産区	117	△ 31	6	△ 26
	水道（収益的）	1,165,288	27,086	1,097,280	△ 65,791
	水道（資本的）	805,647	161,755	1,090,003	156,772
	市立病院（収益的）	3,023,307	30,750	2,895,226	△ 34,989
	市立病院（資本的）	57,008	△ 110,440	376,202	△ 113,661

※工業団地は令和元年度から事業開始のため、対前年度増減を「-」で表示しています

一般会計 歳出

歳出総額 246 億 4,737 万円

■歳出総額は前年度比 3.2%の減となりました

主な増減（前年度比）

- 総務費 17.2%減 (△ 538,445 千円)
  - ・・・安来庁舎関連建設事業の終了など
- 民生費 3.0%減 (△ 211,996 千円)
  - ・・・私立保育園整備事業の補助等の減など
- 衛生費 7.5%減 (△ 169,122 千円)
  - ・・・医療施設整備事業の補助の減など
- 農林水産業費 11.4%増 (157,219 千円)
  - ・・・農業振興事業の補助の増など
- 土木費 11.4%増 (259,112 千円)
  - ・・・安来港飯島線道路改良事業の増など
- 教育費 7.5%減 (△ 189,068 千円)
  - ・・・安来市民体育館、地区交流センター耐震改修事業の終了など

■目的別内訳

議会費 0.8%  
1 億 9,474 万円

労働費 0.7%  
1 億 6,189 万円

農林水産業費 6.2%  
15 億 3,854 万円

商工費 3.8%  
9 億 2,618 万円

消防費 3.6%  
8 億 8,522 万円

災害復旧費 0.6%  
1 億 5,039 万円



# 安来市の財政状況

●安来市は全て基準をクリア  
 財政健全化は、法律で定められた指標を見て判断します。  
 安来市は全ての指標で基準をクリアしています。  
 指標が早期健全化基準を超え

## 健全化判断比率

項目	安来市の決算比率	国の早期健全化基準	国の財政再生基準
実質赤字比率	—	12.84	20.00
連結実質赤字比率	—	17.84	30.00
実質公債費比率	15.8	25.0	35.0
将来負担比率	125.8	350.0	

※実質赤字比率、連結実質赤字比率は黒字のため「—」表示にしています（単位：%）

## 公営企業の経営の健全化に向けた比率

資金不足比率	会計名	比率	経営健全化基準
	水道事業会計	—	
	病院事業会計	16.1	
	下水道事業特別会計	—	
	工業団地整備事業特別会計	—	
	電気事業特別会計	—	

※資金不足額が発生していない会計は「—」表示となります（単位：%）

ると自主的な改善努力が求められます。  
 さらに財政再生基準を超える  
 と財政再生計画を策定し、国の  
 管理のもと財政再生を目指すこ  
 ととなります。

### 【用語の説明】

実質赤字比率：地方公共団体の最も主要な会計である「一般会計」等に生じている赤字の大きさを、その地方公共団体の標準財政規模に対する割合で表したものです。

連結実質赤字比率：公立病院や下水道など公営企業を含む「地方公共団体の全会計」に生じている赤字の大きさを、標準財政規模に対する割合で表したものです。

実質公債費比率：地方公共団体の借入金（地方債）の返済額（公債費）の大きさを、その地方公共団体の標準財政規模に対する割合で表したものです。

将来負担比率：公営企業、出資法人等を含めた普通会計の実質的負債をその地方公共団体の標準財政規模に対する割合で表したものです。

資金不足比率：公営企業の事業規模に対する資金の不足額の比率を示し、経営状況を把握するものです。

項目	令和元年度	平成30年度	前年度増減	用語の説明
経常収支比率	94.8	94.6	0.2	毎年度収入となる財源のうち、義務的な経費など毎年度支出する経費に充てた割合
地方債現在高比率	258.1	268.8	△10.7	将来、償還すべき地方債現在高の標準財政規模に対する割合。
積立金現在高比率	43.5	49.9	△6.4	財政調整基金や減債基金など積立金の残高の標準財政規模に対する割合。

（単位：%）

この他にも、さまざまな角度から財政状況を分析しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。



## 令和元年度に取り組んだ主な事業



### 放課後児童健全育成事業

89,061 千円

放課後児童クラブの実施箇所を新たに1クラブ増設。全14クラブで運営し保護者のニーズに応えました。



### 安来市親子交流センター事業

18,148 千円

旧城谷保育所に施設を一時移転し、敷地内に利用者駐車場を整備。利用者の安全と利便性の向上を図りました。



### 総合計画後期基本計画（総合戦略）策定事業

7,744 千円

令和2年度から令和7年度までの総合計画後期基本計画を策定。策定にあたっては、市民ワークショップを開催しました。



### 安来港飯島線道路改良事業

265,578 千円

市内を東西に連絡する補助幹線道路、安来港飯島線。主に用地買収と物件移転補償および盛土工、水路工、舗装工を行いました。



### 観光施設整備事業

14,999 千円

清水寺の玄関口にあたる大門駐車場から参道にかけて、川への転落防止柵の設置、遊歩道および多目的スペースを整備しました。



### 母子保健推進事業

6,753 千円

安来市母子健康包括支援センター（ぴっこりー）の開設に向けて相談室を設けるため改修工事等を行いました。



### 体育施設整備事業

81,693 千円

安来運動公園テニス練習コート、庭球場ナイター照明を改修。安全で快適かつ安心して利用できる環境を提供し、市民の健康増進を図りました。



### ICT 環境整備事業

28,140 千円

小中学校の新学習指導要領の全面実施に向け、学習の内容と方法の両方を重視。子どもの学びの過程を質的に高めていくため、教育のICT環境の整備を行いました。



### 常備消防施設事業

99,858 千円

平成10年に運用開始した梯子車の製造業者保証が切れるため、新たに13mブーム付多目的消防ポンプ自動車を購入しました。また、消防施設の修繕等を行いました。